

コマガタケスグリ

Ribes japonicum Maxim.
スグリ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

採集された標本は1点のみ。生育地が限られ、非常に稀な種である。

分布

北海道、本州、四国に分布。県内では奥越の深山で採集記録がある。

種の特徴

亜高山帯に生える落葉低木。葉は互生し、長さ12～25cm、掌状に5中裂、粗い重鋸歯がある。花期は5～6月。総状花序は長さ10～20cm。萼片は5個、花弁は白色、小さい。果実は球形、直径8mm、赤黒色に熟す。

生育を脅かす要因

産地局限。

参考文献 茂木透他（2000b）、福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

コガネネコノメソウ

Chrysosplenium pilosum Maxim. var. *sphaerospermum* (Maxim.) H.Hara
ユキノシタ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地が限られ、個体数も多くないと判断されるが、情報不足。

分布

本州（関東以西）～九州に分布する。県内では池田町、大野市で確認されている。

種の特徴

山地の谷沿いの湿った所に生える多年生草本。草丈4～10cm。茎には白毛が少しあり、根元から出る葉は花時には枯れ、扇形～円形。縁には5～10個の丸い鋸歯がある。茎につく葉は小型で1対。花弁はなく、萼片は4個、鮮黄色または黄緑色で直立し、先端は円形。

生育を脅かす要因

森林伐採や道路工事等による生育環境の悪化。

参考文献 佐藤義輔ほか（1982a）、福井県自然保護課編（2004）、福井県植物研究会（1997）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○							○	

チツパベンケイ

Hylotelephium sordidum (Maxim.) H.Ohba
ベンケイソウ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧II類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも少ない。本県を分布の西限とする。

分布

本州（中北部）に分布。県内では大野市、池田町、越前市、高浜町に見られる。

種の特徴

山地の樹上や岩上に生える多年生草本。茎と葉は汚赤紫色。茎は斜上し、長さ10～25cm。葉は互生、時に対生し、卵形、長さ2.5～4.5cm、幅1.5～3cm、低い鋸歯がある。花期は9～10月。花序は茎の先に集まる。花弁は淡黄緑色、長さ3.5mm、葯は橙褐色。

生育を脅かす要因

森林伐採、産地局限、道路工事、自然遷移。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○						○			○				○	